



水芭蕉、満開に。

五泉市立川東中学校学校だより
令和5年4月17日発行 創刊号
毎月1回発行（文責 校長）

その花言葉「美しい思い出」の如く充実した学校生活を願い、「水芭蕉、満開に」としました。

時間には限りがあることを実感しよう。

～川東中学校の令和5年度がスタートしました。～

いよいよ令和5年度がスタートしました。始業式では、代表生徒が力強く決意を述べました。

特に、頑張りたいのは勉強と部活。家でわかるまで諦めずに復習し、部活では1年生の目標となるようだらだらしないで頑張りたい。（2年生）

1，2年生の手本として引っ張る存在となり、最後の部活は1秒1秒を大切にし、最後の行事はみんなと協力して成功を収めたい。（3年生）

新たな決意を胸に揃った2，3年生を前に校長として、次のメッセージを送りました。

中学校3年間の授業日は合計614日。在校時間5000時間の大半は授業だが、それ以外の時間もかなりある。500時間を費やす何かを見つけて欲しい。500時間を費やして何かに挑戦をしていると、もっと時間を費やしたくなる何かが見つかる。次はそこに1万時間を費やして欲しい。中学校は人生で1万時間を費やす何かを見つける時期だ。まずは、500時間かける何かを見つけてほしい。

中学校3年間で1日と考えると、学校にいる時間は4時間半くらいである。1日8時間寝たとしても11時間以上の自由時間が残る。食事や風呂、トイレを引いても、自分の時間は実はたくさんある。この時間をどう過ごすかをよく考えてほしい。

時間を有効に使う上で、大切なのは時間が有限であることに気づくことである。そして、どのくらいあるかを把握することである。「**限りある自分の時間を何に費やしたいですか。**」



令和5年度の川東中学校のスタッフを紹介します。なお、アンダーラインは新任職員です。

担当	氏名	教科	部活動	P T A
校長	佐藤 昌樹	**	**	**
教頭	石倉 仁一	数学	**	地 区
教務主任	貝津 泰光	社会	バスケ	事務局
1年主任	高野由紀子	英語	バレー	1 学年
1年担任	高橋 光輝	国語	バスケ	**
2年主任担任	西方 貴子	理家	**	2 学年
2年副任	<u>西山浩太郎</u>	数学	卓 球	健康生活
3年主任	<u>八木 信己</u>	社技	卓 球	3 学年
3年担任	皆川 将太	体技	バレー	生活指導
3組担任	堂角百合子	音楽	卓 球	広 報
美術専任	山川真知子	美術	**	**

担当	氏名	備 考
保健室	伊藤 京子	
学校事務	瀬倉 栄子	
管理員	山田 宏	
適応指導教室相談員	<u>斎藤 直子</u>	
学習指導補助員	鵜頭 雅美	
介助員	浅井 早織	
A L T	テレサ・フローレス・パロマ	火曜木曜来校
心の教室相談員	藤澤 容子	
スクールカウンセラー	渡辺 正人	水曜来校
派遣司書	<u>齋藤 修子</u>	火曜来校
推進員	栗田 秀子	木曜来校



特に、力を入れる何かを見つけよう。

～令和5年度入学式を挙行了しました。～

令和5年度入学式を先日挙行了いたしました。感染症予防に係る制限が緩和された中での式となりました。新たなステージに向かう不安の中にも新たな決意を秘めた新入生の表情が印象的でした。式辞の一部を紹介します。

ひろゆき、の名で知られる西村博之氏は著書「1%の努力」の中で、こんな話をしている。

ある大学教授が大きな壺を取り出し、いっぱいになるまで大きな石を詰めて学生に聞いた。「この壺は満杯か」と。学生が「はい」と答えると、教授は壺に砂利を流し込んだ。砂利は石の間をすり抜けて壺を埋めていった。そして、さらに教授は聞いた。「この壺は満杯か」と。学生は今度は「いいえ」と答えた。教授は続いて壺の中に水を縁のギリギリまで入れた。「何を言いたいかわかるか」と大学教授が尋ねた。「無理と思わずにやってみることだ」と学生が答えた。教授は「違う」と言った。「大きな石を先に入れない限り、それが入る余地はその後2度とないということだ」と。

中学校の3年間は決して短くはないけれど、有限の時間である。この有限の時間という壺にどんな大きな石を最初に入れたいか、どんな挑戦に時間を割きたいか。中学校の3年間はこんなことをした、1つでいいので、そんな何かを見つけて、取り組んでほしい。

「あなたにとって、最初に壺に入れる大きな石は何ですか。」



【新入生誓いの言葉】

今日、入学した24名はそれぞれが大きな夢を持っています。その夢を実現できる力を身につけられるような有意義な中学校生活を送ることを誓います。

【生徒代表歓迎の言葉】

何があっても笑顔を忘れずに前へ進みましょう。きっと大切なものが見つかります。たくさんの宝物が手に入ります。すべてがかけがえのない経験になるはずです。

これぞ、生徒主催！「生徒会入会式・一迎会」終了

新1年生が生徒会活動の概要を理解し、上級生と親睦を深めるべく、生徒会主催の標記の会が開催されました。その工夫と実行力は賞賛に値します。これからの生徒会活動が楽しみです。

- ・タブレット端末やプロジェクタなど電子機器を活用した斬新な「生徒会活動の紹介」
- ・春休みの練習中に時間を割いて練習し、実演を交え工夫を凝らした「部活動の説明」
- ・新1年生と上級生が親睦を図ったレクリレーション「ジャンケン列車」

昨年度に引き続き、学校だよりを校長佐藤昌樹(さとうまさき)が作成し毎月1回お届けします。全校生徒に配付する他、町内会長様からご足労いただき、町内回覧をしていただきます。一部を除き、担当生徒が持参いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

また、広く皆様からご覧いただけるよう、学校のHPにもアップするため、記事には生徒の個人名や個人が特定される顔写真を掲載いたしません。ご了承ください。